

主題「私にもできる国際貢献」

ねらい：人道的支援という国際貢献への憧れや、自分にもできるという期待感を持たせる。

●導入

隣の人が困っていたらどうする？

●範読（8分）

補助：ユダヤの人々がそのまま、リトアニアにいたらどうなっていたらう？

しかし、生き延びた人もいた。それは、杉原が助けたから！ただし、そう簡単に助けられたわけではない。

●場面発問①

杉原が「眠れぬ夜を過ごした」のはなぜか。

- ・どうしたらいいのか、悩んだ
- ・外交官という立場上、助けたいけど助けられない？
- ・助けると職を失い、生きていけない
- ・家族の安全も危うくなるかもしれない

※最終的に、杉原はどうした？ → ビザの発給を決意した

補助：千畝と幸子が、苦悩の末にビザ発給を決意したのはなぜか。 **人助け＞自分の職**

杉原の職って何だった？ → 外交官

ということは・・・日本政府の指示に従わなかった＝逆らった 決断をした・・・！

これって、職業上OK？ → 法律違反！許されない行為！ → 分かった上で・・・

●場面発問② がしかし・・・よく考えて！！

「日本政府は、ビザを認めていない」のに、ユダヤの人々が来日できたのはなぜか。

- ・途中、日本を通過することを許した人がいたから
- ・受け入れ先があったから → （受け入れ先が事実上あっても、受け入れてもらえないかも？）

- ・関わった人が、杉原と同じ考えだったから

※ただし、ビザはビザでも“通過”ビザってことは、持っているだけで、彼らは助かる？

→ 杉原だけではなく、たくさんの人が関わって、彼らを助けたはず！

実はネタばらし、動画を見る！

●場面発問③

もしも、杉原が外交官ではなかったら、ユダヤの人々を目の前にして、どうしただろう？

- ・自分ができる限りで、手を差し伸べた（例えば？ ご飯を与える、かくまって世話する）
- ・一緒に頼み込む
- ・どうにか一緒に日本に行けないか考える
- ・一緒に助かるための作戦を考える

●主題発問

国際貢献

杉原たちを駆り立てたのは何だろう？（学びあい）

思いやり

強い意志

正義

貢献

生命の尊さ

- ・困っている人の力になりたい
- ・助けたい
- ・役に立ちたい
- ・命を守りたい
- ・人のために行動する信念
- ・人として正しさ
- ・もしかしたら、何かの恩返しとか？
- ・同じ人間なのに、肌の色や宗教で判断されるのはおかしい

人間愛？

公正・公平

感謝

※国際貢献というと難しいような、ヒーローのような人しかできないと思いがちだけど、国際貢献は、私たちがもっている気持ちがスタートなんだ！

そして、私たちが地域や日本社会にして行っている貢献が社会貢献と呼ばれ、外国に対して行う貢献が国際貢献と呼ばれているだけ！していることは同じ！だからこそ、私たちにもきっとできる！

●感想